

2021年明けましておめでとうございます。富士山は日本のシンボルですが、この美しい姿をとめているうちに、88景の写真集を購入しました。自然の脅威ともいえる新型コロナウィルスの出現は人間に警告を発しているのでしょうか？「パンデミックマップ」はパンデミックの歴史をふりかえり人間とおしのいさかいを戒めてくれる一助になると思います。



今年は阪神淡路大震災発生から26年、防災グッズの本を参考にもしもの時の荷物を1つ作っておくのも良いでしょうね

本や論文のリクエストや質問などお気軽にメールでおよせください
tosyo@awaji.ac.jp

A.図書館：集密書架の23番に阪神淡路大震災コーナーと首里城コーナーがあります。震災関連の本には赤シールを貼付、NDC（日本十進分類法）順に配架されています。震災の報道写真、復興のあゆみ等”阪神淡路大震災”で検索すると260冊以上、雑誌の特集記事もわかります。ビデオも寄贈いただいておりますが2020年発行の本を購入。東日本大震災等他の災害関連も増やしていきます。首里城コーナーには過去の復元の記録などがあります。元当校校長の石原氏の担当場所で1年前の焼失時に記事を投稿されています。「首里城焼失から再建への道のり」等を注文しています。



B 図書：“生物”で検索すると1200件以上”動物”で検索すると750件以上当館に資料はあります。480～488「ヤギ飼いになる」「ニホンミツバチの飼育法」はSDGs活動で活用、「ざんねんないきもの事典」は子供たちの人気があり続編含めて5冊購入。もうすぐ中国に帰国する神戸市王子動物園の「タンタン」ロングセラーの絵本「せいめいのれきし」とその解説本、40年以上自然とむきあってきた甲斐信枝さんの「小さな生きものたちの不思議なくらし」生物や動物に関する図鑑以外にもいろいろあり一部入口近くのワゴンに設置しています



C 雑誌：「昆虫と自然」ニューサイエンス社は1999年より20年余り購読を続けており、今年度学生さんがチョウやガの研究に利用されています。「野生生物と社会 = Wildlife and human society」は2013年から購読を継続し他大学から複写依頼があります。2020年8月発行の「ワイルドライフ・フォーラム = Wildlife forum」の特集はロードキルを扱っています。「野生生物と交通」は時々、「兵庫ワイルドライフモノグラフ」は兵庫県のイノシシなどの野生動物がテーマです。



伊丹市昆虫館（いたこん）より「伊丹市昆虫館研究報告」や友の会ニュースレターが届いています。「ANIMATE」は東京農業大学動物研究会発行の雑誌で当校の紀要と交換で入手しています

D他の館：大阪市自然史博物館は長居公園にある博物館で「自然と人間」の関わりをテーマにした5つの常設展示室、ナウマンホール、2001年にできた新館より構成されているそうです。学校や地域との連携を深め子どもにもきちんと伝える工夫をされているようです（「『自然史博物館』をかえていく」より）

3月12日まで工事休館しているようです ホームページ参照ください <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/index2.html>



ミニガイドNo.30 瀬戸内海の海浜植物は澤田教員が執筆されています

E.質問：修了生の方が、「寺院の庭」について調べたい！と来訪されました。「庭」（建築資料研究社）で寺院の庭を特集しているのが222号（2016.1）と234号（2019.2）。234号には、建築家と造園家がつくる新しい寺院のかたちや、ポर्टランド日本庭園の記事もあります。「日本庭園の魅力」「兵庫県日本庭園」「ひょうごの庭園」などの書籍も紹介しました



環境緑化新聞連載の”世界の緑を見る”が書籍化され購入しました



編集後記：在宅勤務で空いた時間でイギリス発の映画「パティントン」を鑑賞。くまが、ロンドンの街で剥製にされそうになるのをある家族が助けるといったスリルとスピード感の中にあたたかみのあるストーリーです。A.S